

# 地域の方々と交流しよう!

教育課程上の位置付 生活単元学習

## 実施概要

施設訪問は、今回が初めてです。始めに、教員のピアノ伴奏で、生徒が詩の朗読を行いました。続いて、生徒はリズムに合わせて5つの音色のベルで演奏しました。次に、利用者に歌詞カードを配り、「もみじ」と「ふるさと」の曲を全員で歌いました。

その後、生徒はカラフルな衣装を身に着け、利用者に手作りマラカスを配り、利用者と一緒にサンバを踊りました。最後に、アンコール曲「ふるさと」を全員で歌いました。

**活動参加者** 当校 生徒…12人 担当教員…6人  
**内訳** 交流先 利用者…45人 担当職員…15人

**交通手段** 当校とアゼリー江戸川との距離はおおよそ300m  
徒歩で訪問 約5分



サンバの衣装で登場の生徒に利用者拍手喝采

## 活動報告 実施日：10月19日(金)

始めに、生徒が詩の朗読を始めると、利用者は聞き入り、朗読が終わると大きな拍手が送られました。「五つの音」では、生徒が5つの音色のベルを鳴らすと、利用者は耳を澄ませて聞いていました。次に、「もみじ」と「ふるさと」の歌詞カードを利用者に配布し、全員で合唱すると、会場は大きな歌声に包まれました。

続いて、サンバのダンスでは、生徒がカラフルな衣装を身に着け、利用者の間に入りサンバを踊ると、手作りマラカスを鳴らしたり、手拍子をしたり、立ち上がって一緒に踊ったりする利用者もいて、熱気があふれました。その後、利用者のアンコールに、もう一度「ふるさと」を全員で歌い、最後はお互いに握手をして、活動を終了しました。

### 当日のスケジュール

- 10:00 学校、施設、SSC、都教委4者事前打合せ(会議室)
- 10:20 生徒、引率教員施設到着、施設代表者への挨拶、準備
- 10:30 活動開始、施設挨拶

#### 始めの言葉

詩の朗読(BGMで教員がピアノ伴奏)

・「みんなを好きに」、「夕日がせなかを押しとくる」、  
「雨二モ負ケズ」

幕間(教員のピアノ演奏)

五つの音(リズムに合わせて生徒がベルを鳴らして演奏)

童謡の歌唱・「もみじ」、「ふるさと」

(歌詞カードを模造紙に掲示。利用者にも歌詞カードを配布し、生徒と利用者全員で歌う)

ダンス「サンバソング」を披露、利用者も参加

(利用者の近くに生徒が入り、一緒にダンス)

11:10 終わりの言葉、活動終了(生徒、施設退出)

### ■活動のために準備したもの

- ・サンバの衣装(生徒がミシンをかけて手作り)
- ・マラカス(生徒がペットボトルとビーズを使用して手作り)
- ・童謡の大型歌詞カード

### ■工夫したところ

季節の童謡を取り入れて、生徒も利用者も一緒に楽しめるような演出をしました。利用者にサンバに楽しく参加していただけるよう、手作りのマラカスを持参して、生徒が配って鳴らしていただけるようにしました。生徒が衣装に着替えたりする幕間の時間に音楽科の教員がピアノで懐かしのメロディーを演奏しました。

### ■実施にあたって注意したところ

利用者の方々が驚かないように、音量等に注意しました。また、なるべく喜んでいただけるような題材(童謡、ピアノ/BGMの曲目)を選びました。

### ■良かったと思うところ

利用者の方々が喜んで、拍手をしてくださる等、楽しんで参加していただいている様子が感じられたこと、またそれらが生徒にも伝わったような雰囲気がとても良かったと思います。

### ■今後に向けての学校からの抱負

地域にある施設を生徒が訪問する機会を積極的にもちたいと思います。また、相手に喜んでいただくことを実感することで、生徒の心の中に自己肯定感、自己有用感が育っていくことが望ましいと思います。難しい部分もありますが、定期的な交流をして、利用者の方々、生徒の双方に主体的な活動が定着し、生きがいにつながっていくと良いかと思っています。

当校は、肢体不自由教育部門(小学部・中学部・高等部)と、知的障害教育部門(小学部・中学部)を併置する特別支援学校です。個々の児童・生徒の障害の状態などに応じた専門的な教育を行うことにより、生きる力を養い、分かる力を高め、地域社会の一員として主体的に社会参加・自立し、共生社会実現に向けて、生涯にわたり心豊かに生きていく人材を育成する学校を目指しています。社会貢献活動は、これまで行っていません。

## 活動の感想

### 生徒・教員の感想

#### 生徒

- ・「もみじ」を歌ったときに、秋のイメージが伝わるようにと思いました。一緒に歌ってくれたおじいさん、おばあさんの歌が上手だったので驚きました。拍手をたくさんしてもらったことがうれしかったです。
- ・詩の朗読が緊張しました。上手に読めたので自分でも頑張ったなと思いました。「また来てね」と言われたことがうれしかったです。
- ・「五つの音」の響きがきれいでした。

#### 教員

学校に訪問していただき、何かをしてもらうということはあるのですが、こちらが訪問して何かをするということは生徒にとって初めての経験でした。実施までは生徒、教員ともに不安がありましたが、会が始まり一緒に童謡を歌ったり、ダンスのリズムに合わせてマラカスを鳴らしたりしてくださる姿や、生徒たちの喜びの表情に、教員も心地良い充足感でいっぱいになりました。

### 施設の参加利用者・担当者の感想

#### 利用者

- ・皆さん生き生きとしていて感激しました。大変楽しかったです。とてもよかったです。生徒さんに毎週来て欲しいくらいです。私たちのために、とても楽しい時間をありがとうございました。生徒さんの一生懸命さに勇気をもらいました。
- ・生徒さんたちが一生懸命にやってくれて、衣装も変わって楽しかった。元気をもらいました。

#### 担当者

この度は、アゼリー江戸川にて社会貢献活動を行っていただき、誠にありがとうございます。利用者様・職員一同、生徒の皆さまが演じている姿に大変感銘を受けました。涙を流す利用者様や、立ってマラカスを振る利用者様がいたり、いつも居眠りをしている利用者様が「ふるさと」を口ずさんだりなど、普段見ることができない利用者様皆さまの姿を拝見することができ、とてもうれしく思います。また、機会がございましたら、何卒よろしくお願致します。

### ■実施までの経過 ※(コ)：コーディネーター

- 7月3日 (コ)、当校を訪問。担当教員と打合せ
- 7月30日 担当教員、施設を訪問。活動内容打合せ
- 8月1日 (コ)、施設を訪問。当事業を説明、協力依頼。担当者と施設長快諾
- 9月27日 (コ)、担当教員と活動内容最終打合せ

### 交流先



アゼリーグループ 社会福祉法人江寿会  
**アゼリー江戸川ケアセンター**  
住所：東京都江戸川区本一色2-13-25

#### ■施設概要

- ・特別養護老人ホーム 定員85名
- ・ショートステイ 定員10名
- ・デイサービス、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所



「雨二モ負ケズ」の詩の朗読は心に染みます



手作りのマラカスを利用者さんに配りました